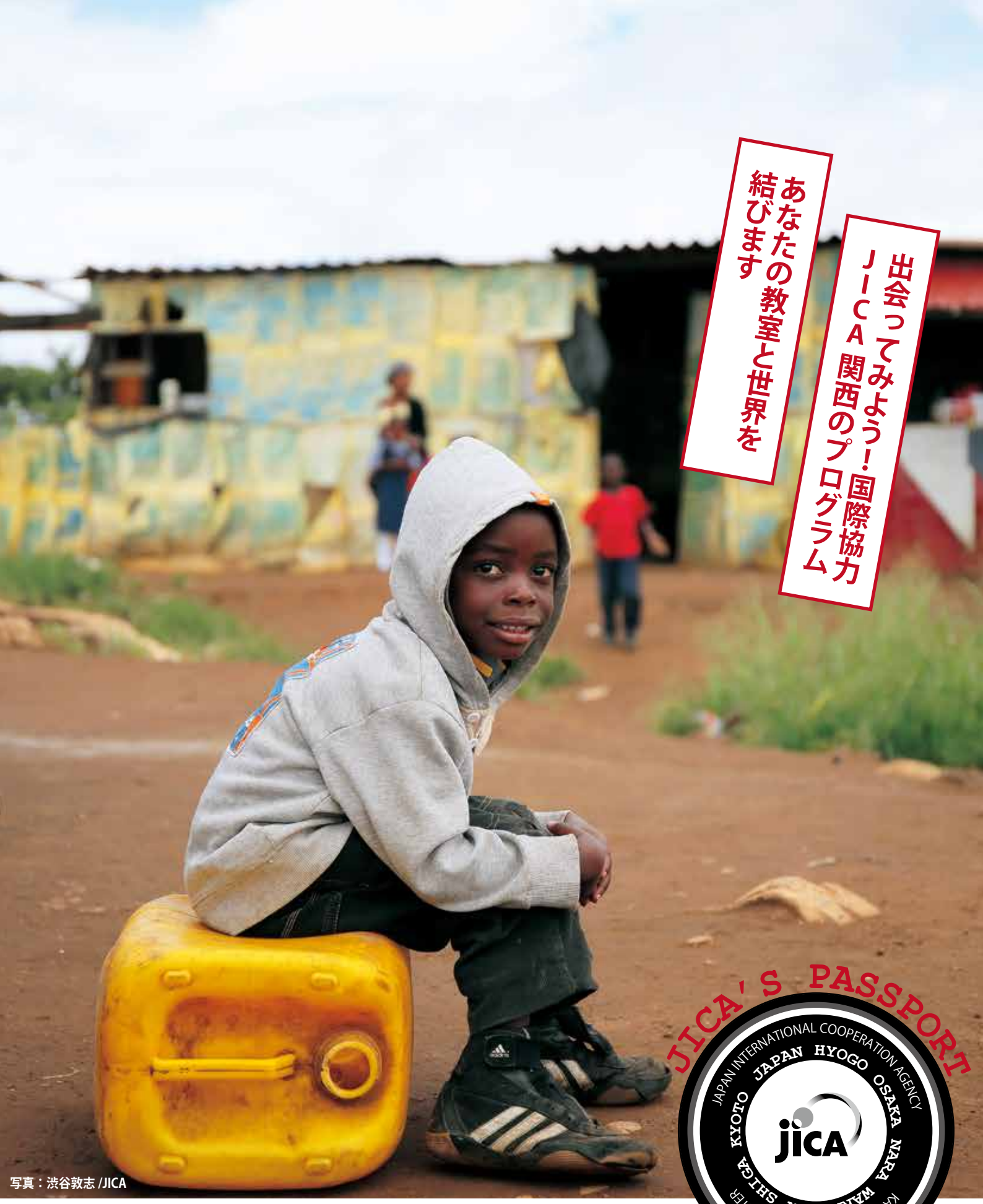

出会ってみよう！国際協力
JICA 関西のプログラム

あなたの教室と世界を
結びます

JICA'S PASSPORT

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
JAPAN HYOGO OSAKA NARA WAKAYAMA SHIGA KYOTO
KANSAI INTERNATIONAL CENTER

写真：渋谷敦志 /JICA

学校や地域での国際理解、アクティブ・ラーニングの実践に

世界を知ろう、考えよう

開発教育支援事業のご案内

グローバル教育

アクティブ・ラーニング
サービス・ラーニング

キャリア教育

国際教育

ESD
（持続可能な開発のための教育）

平和教育
人権教育

環境教育

修学旅行
スタディツアー
フィールドワーク
（事前学習等）

What's JICA?

JICA は国際協力機構(Japan International Cooperation Agency) のことです。
日本が実施する政府開発援助(ODA）の二国間援助を行う実施機関で、世界 150 以上の国と地域、日本国内 15 ヶ所の国内拠点で開発途上国の課題解決に取り組んでいます。
開発途上国が抱える課題に対し、日本が持っている解決策(資金や資材、技術や経験、人材等) を活用してその国のより良い国づくりに協力しています。
JICA は日本と開発途上国との「架け橋」となって、国際協力事業に取り組んでいます。

JICA 関西の教育支援プログラム

世界を知って、考えて、行動しよう！

グローバル化が進む世界では、地球に住む私たち自身が自らのライフスタイルを見つめなおし、国際社会が抱える課題に取り組むことが急務となっています。

JICA では、日本政府が行う開発途上国における国際協力事業で培った知見・経験・人材を活用し、日本の地域や学校の教育現場で「国際協力への理解と参加促進」「未来の地球を担う人材育成」を目的に開発教育支援事業を実施しています。

国際社会における開発問題を知り、自分で何ができるのかを考え、自ら行動できるグローバル人材の育成の一助として、JICA の開発教育支援事業をご活用ください。

写真：谷本美加 /JICA

Contents

教室に世界がやってくる！
JICA 国際協力出前講座 ---------- 4

世界と出会う！
JICA 海外技術研修員との交流 ---------- 7

日本の国際協力を知ろう！
JICA 関西訪問プログラム ---------- 8

世界を見つめよう！
JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト ---------- 11

世界を考える！
高校生国際協力実体験セミナー ---------- 12

国際協力を体感！
職場体験 ---------- 12

世界に飛び立つ！
教師海外研修 ---------- 13

あなたの取り組み共有してください！
グローバル教育コンクール ---------- 13

授業に役立つ！
開発教育指導者研修 ---------- 14

お申込み・お問合わせ ---------- 14

教室に世界がやってくる！

JICA国際協力出前講座

開発途上国の状況や、国際協力の現場の様子などを、青年海外協力隊などの JICA ボランティア経験者等が、みなさんのところに出向いてお話します。現場で活躍した人だからこその貴重な体験談やエピソードをお届けします。

国際教育や総合的な学習の時間だけでなく、人権、平和、環境、多文化共生などの学習や学校内外での教員研修などにご活用ください。

■申込からの流れ

こんな講師いるのかな？

●下の問い合わせ先へまずはご相談ください。
●依頼が決定したら、5 ページの依頼書と 6 ページの申込書で正式にご依頼ください。

→

どんな授業にしようかな？

●担当者が依頼に沿った講師を紹介します。
●当日までに、講師と打合せを行ってください。
●よりよい学習のために、事前・事後学習などを行えばさらに効果的です。

→

いよいよ当日!!

●実施後は、評価アンケートを提出してください。

内　　容　ご希望に応じた講師を紹介します。講師との連絡調整に時間を有するので、少なくとも 1 か月前までにご依頼ください。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合がありますので、ご了承下さい。

対　　象　学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

実 施 日　通　　年

費　　用　講師謝金および交通費実費（原則として依頼元負担）
※謝金の支払規程をお持ちでない場合は、JICA規程額を参考にしていただけます。詳しくは担当者にお問い合わせ下さい。

問合せ先　（公社）青年海外協力協会近畿支部　JICA 国際協力出前講座担当
TEL. (06)6375-2224　FAX. (06)6375-2226　E-mail:kinki-ed@joca.or.jp

体験者の声

JICA ボランティア体験談を聞きました。

●実際に開発途上国で活動した人でしか撮れない写真や動画を見せていただき、リアルな現場の話が聞けてよかったです。
●途上国の状況や子どもたちの様子がわかり、その国を身近に感じました。

JICA 国際協力出前講座　＜依頼書様式見本＞

年　　月　　日

独立行政法人国際協力機構
関西国際センター

貴校・団体名称
代表者名　　（公印等）

注意：貴校・団体の公文書として送付いただきます。（押印をお願いいたします。）

件　　名（依頼）

記

1．日　時：平成　　年　　月　　日　○○時○○分から○○時○○分まで

2．場　所：（プログラムを実施する場所をご記入ください。）

3．目　的：（貴団体のご意向・期待する効果をご記入ください。）

4．対象者・人数：（対象学年や年代、人数をご記入ください。）

5．内　容：添付の申込書のとおり（次ページに申込書様式があります。）

6．備　考：（特記事項がありましたらご記入ください。）

7．今後の手続き等については、JICA 関西が開発教育支援事業にかかる業務を委託している公益社団法人青年海外協力協会と直接行うことを了承いたします。

以　上

※上様式は、JICA 関西 HP の **JICA 国際協力出前講座のページ** からダウンロード可能です。
⇒https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/demae/index.html
依頼書送付先：公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 国際協力出前講座担当
〒531-0072　大阪市北区豊崎 3-9-7　いずみビル 304 号
※お手数ですが、公文書として押印の上、郵送にてご提出ください。

JICA 国際協力出前講座　＜申込書＞

記入日　　年　　月　　日

依頼団体名		
連絡先	住所：〒　　－ 府／県 TEL：（　　）　　－　　FAX：（　　）　　－ 担当者名：　　（連絡可能な時間帯：　　） E-mail：（□個人　□学校）	
実施希望日時	年　　月　　日（　　）　　：　　～　　：	
実施会場	実施場所：　　会場名／部屋の広さ： 最寄駅：　　線（バス）　　駅から徒歩（　　）分	
対象者・人数	対象者：　　人数：	
使用可能機材	□パソコン（パワーポイント使用可）　□プロジェクター・スクリーン □スピーカー　□マイク　□ＣＤプレーヤー　□ホワイトボード・黒板 □その他（　　） ※講師が複数名いる場合：パソコン・プロジェクターの台数（　　台）	
講師に関する希望 ※ご希望にそえない点もございますので、予めご了承くださいませ。	講師の人数（　　）名　講師決定希望期限　　年　　月　　日頃　まで その他、体験内容、派遣国、専門分野などについて希望があればご記入下さい。 （　　）	
講師への謝金等	謝金支払い金額（　　）円　／　交通費（　込み　・　別途　） ※源泉徴収分の差し引き　□あり　□なし ※受け渡し方法　□口座振込み　□当日手渡し	
講座・講師依頼内容		
講座の希望内容	□JICA ボランティアの活動体験談　□外国の生活・文化 / 異文化理解 □国際協力活動　□進路、キャリア　□ その他（　　）	
講座のテーマ／タイトル		
講座の目的		
講座の流れ／ポイント／講師の役割等		
【教育機関の方】出前講座実施単元／講義		
今回の講座の位置づけ	□教科（教科名：　　）　□総合的な学習の時間　□学校行事（行事名：　　） □大学・講義（講義名：　　）　□その他（　　）	
事前・事後学習の取り組み（記入または資料を添付ください）		
JICA プログラム利用実績	□今回初めて	過去に利用した経験がある（利用年度　　） □講師派遣　□JICA 事業説明　□JICA 研修員交流　□その他（　　）

※上様式は、JICA 関西 HP の **JICA 国際協力出前講座のページ** からダウンロード可能です。

⇒https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/demae/index.html

申込書送付先：公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 国際協力出前講座担当

〒531-0072　大阪市北区豊崎 3-9-7　いずみビル 304 号　FAX.（06）6375-2226　E-mail：kinki-ed@joca.or.jp

世界と出会う！

JICA海外技術研修員との交流

JICA 関西では、150 か国以上の開発途上国から来日中の技術研修員（政府の行政官や技術者など）を毎年 1,600 名以上受け入れています。

児童・生徒や教員のみなさんと研修員とが直接交流することによって、開発途上国に対する理解や国際協力・多文化共生について考えるきっかけづくりになるプログラムです。

■交流実践事例

◆研修コース：環境問題に関するコース
◆出　身　国：アルゼンチン、キューバ、ホンジュラス、マラウイ、モザンビーク、セルビア、南スーダンなど
◆校　種：小学校
◆学　年：3・4 年生
◆時　間：3 時間

歓迎のあいさつ……児童の代表が、歓迎のあいさつを研修員の母国語でしました。
研修員へのインタビュー……研修員と共に「ごみ分別クイズ」、ごみ問題についての発表、環境問題について質疑応答を行いました。交流の前から日本と途上国の環境問題について調べ学習し、その内容を発表しました。また、学習の中から出てきた疑問を、直接研修員に聞きました。
給食交流……各クラスで研修員と一緒に給食を食べました。
分科会……グループごとに、研修員と日本の遊びを一緒に行い、文化の一つとして紹介しました。
お礼のあいさつ……児童の代表が、お礼のあいさつを英語でしました。
校内の見学……教職員から日本の教育や学校の取り組みについて研修員に説明がありました。

内　　容　学校が企画するプログラムへ来日中の研修員を派遣します。
企画および実施は、依頼団体側でしていただきます。
対　　象　学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など
費　　用　プログラムにかかる経費（通訳、給食交流時の食費など）は依頼団体がご負担ください。
応募方法　年 2 回（4 月と 9 月を予定）、研修員との交流候補日を JICA 関西ホームページで公開します。
⇒https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/kouryu/index.html
実施日、研修コース、申込書等をご確認の上、ご応募ください。応募者多数の場合は、選考します。
問合せ先　JICA 関西（独立行政法人国際協力機構　関西国際センター）内
公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 海外技術研修員との交流担当
TEL.（078）261-0384（直通）FAX（078）261-0357　Email:jicaksic-ed1@jica.go.jp

体験者の声

いろいろな国の研修員と交流しました。

●英語に対して自信のない学生も多かったが、身振り手振りを交えて日本の文化の紹介や、グループディスカッションを行う中で、異文化への理解、コミュニケーションの面白さの原体験を得たようである。
●123 の民族がいるタンザニア、40%の人が学校に通えないバングラデシュ、戦争が続いているグルジアなど、生徒達が知らなかった世界に関心が向けられていました。

日本の国際協力を知ろう！

JICA関西訪問プログラム

▲ JICAプラザ関西（広報展示室）で、見て！触って！感じる！

▲ 開発途上国での体験談を聞く

▲ 月替わりのエスニック料理の一例

国際協力の国内の現場である JICA 関西を訪問し、国際協力や異文化について学び、日本と世界とのつながりに気付くプログラムをご用意しています。

学校の社会見学や修学旅行、教員研修などにも多くご利用いただいています。

■基本的なプログラム（120分）

10:00-10:30　JICA 事業概要説明（世界の国の現状や、JICA の仕事について知ろう！）
10:30-11:30　青年海外協力隊体験談（JICA ボランティアの活動や派遣された開発途上国の様子を知ろう！）
11:30-12:00　JICA 関西　館内案内（施設見学、民族衣装体験など）
＊その他、エスニック料理ランチ（有料）などのプログラムもご用意できます。

内　　容　上記のプログラム（120 分）を基本としてご用意していますが、ご要望に応じてアレンジが可能です。まずは、ご相談ください。※校外学習などであっても個人からの依頼には対応しません。特定の国、地域、専門的なテーマのご依頼には対応できない場合があるのでご了承下さい。

対　　象　学校等の教育機関、地方自治体、市民団体など

人　　数　最大 80 名程度まで対応できます。1 名～5 名などの少人数の場合は対応できない場合があるのでご了承下さい。

実 施 日　通　　年（月曜日～金曜日、土日祝を除く 10:00-17:00）

費　　用　無　　料

問合せ先　JICA 関西（独立行政法人国際協力機構　関西国際センター）内
公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 関西訪問プログラム担当
TEL.（078）261-0384（直通）　FAX.（078）261-0357　Email:jicaksic-ed1@jica.go.jp

体験者の声

JICA 関西に行きました。

●事前学習で様々な国の文化や生活を調べ学習していましたが、やはり現地で住んでいた方にしか分からないことが、たくさんあることに気付いたようです。

●参加した学生は、JICA の活動や ODA に対しての知識がほとんどなく、当初は戸惑い気味だったが、管内の見学や体験談などを通して、途上国への開発援助やボランティア活動に興味を抱いた学生もおり、それぞれグローバル社会の現実を感じ取っていたように思います。

JICA 関西訪問プログラム　＜依頼書様式見本＞

年　　月　　日

独立行政法人国際協力機構
関西国際センター

貴校・団体名称
代表者名　　（公印等）

注意：貴校・団体の公文書として送付いただきます。（押印をお願いいたします。）

件　　名（依頼）

記

1．日　時：平成　　年　　月　　日　○○時○○分から○○時○○分まで

2．場　所：（プログラムを実施する場所をご記入ください。）

3．目　的：（貴団体のご意向・期待する効果をご記入ください。）

4．対象者・人数：（対象学年や年代、人数をご記入ください。）

5．内　容：添付の申込書のとおり（次ページに申込書様式があります。）

6．備　考：（特記事項がありましたらご記入ください。）

7．今後の手続き等については、JICA 関西が開発教育支援事業にかかる業務を委託している公益社団法人青年海外協力協会と直接行うことを了承いたします。

以　上

※上様式は、JICA 関西 HP の **JICA 関西訪問プログラムのページ** からダウンロード可能です。
⇒https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/houmon/index.html

送付先：JICA 関西（独立行政法人国際協力機構　関西国際センター）内
公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 関西訪問プログラム担当
〒651-0073　兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
※お手数ですが、公文書として押印の上、郵送にてご提出ください。

JICA 関西訪問プログラム　＜申込書＞

記入日　　年　　月　　日

依頼団体名			
連絡先	住所：〒　　－ 府／県 TEL：（　　）　　－　　FAX：（　　）　　－ 担当者名：　　（連絡可能な時間帯：　　） E-mail：（□個人　□学校）		
実施希望日時	年　　月　　日（　　）　　：　　～　　：		
対象者・人数	対象者：　　人数：		
希望内容	□JICA 事業について知りたい　□JICA ボランティアの活動体験談を聞きたい □館内見学をしたい　□民族衣装に触れたい　□食事をしたい □その他（　　）		
講師に関する希望 ※JICA ボランティア経験者の体験談をご希望の方 ※ご希望にそえない点もございますので、予めご了承くださいませ。	講師の人数（　　）名　講師決定希望期限　　年　　月　　日頃　まで その他、体験内容、派遣国、専門分野などについて希望があればご記入下さい。 （　　）		
当日のプログラム詳細 （必ず記入ください。資料等もある場合添付をお願いします）	時間	活動内容	備考
行事計画	目的： ねらい： 年間計画における本行事の位置づけ： 事前・事後の取組み：		
JICA プログラム利用実績	□今回初めて	過去に利用した経験がある（利用年度　　） □講師派遣　□JICA 事業説明　□JICA 研修員交流　□その他（　　）	

※上様式は、JICA 関西 HP の **JICA 関西訪問プログラムのページ** からダウンロード可能です。

⇒https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/houmon/index.html

送付先：JICA 関西（独立行政法人国際協力機構　関西国際センター）内
公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 関西訪問プログラム担当
〒651-0073　兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2　FAX.（078）261-0357　E-mail：jicaksic-ed1@jica.go.jp

世界を見つめよう！

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト

国際社会の中で自分ができることは何か、また、自分たち一人ひとりがどう行動すべきかについて考えてもらうことを目的にエッセイコンテストを実施しています。

開発途上国の状況、友達との会話や学校の授業、本や新聞などを通して感じたこと、自分自身の体験から知ったことなどを基にエッセイを書いてみませんか？

上位入賞者は、JICA が活動している開発途上国へ赴き、実際にその国の現状を見て聞いて感じる体験をすることができます。夏休みの課題として、是非ご応募ください。

■中学生の部　国際協力機構理事長賞受賞

小さな私にできること

滋賀県立守山中学校２年　脇　捺夢さん

日本にも、ほんの二、三年前まで、ポリオという病気に感染する可能性があったことを、あなたは知っていますか。

ポリオとは、ウィルスせいの病気で、感染すると後遺症で麻痺が残ったり、最悪の場合は死に至ったりすることもある病気です。また、歳をとるとポストポリオという病気になり、麻痺が悪化することもあります。ポリオは、まだ世界で流行している国があり、たくさんの人が苦しめられています。

現在、国連や政府がポリオの撲滅に向け、感染を防ぐためのワクチンをパキスタンなど、野生株のポリオが存在する国に届けています。

一方、日本でも国内から新たなポリオ感染者を出さないという活動がありました。数年前まで、日本での主なポリオの感染経路は予防接種によるものでした。以前、日本では生ワクチンという、感染率は百万人に二～四人とされたものを使用していました。感染率が低いとはいえ、感染者はいます。犠牲者が一人でもいていいのでしょうか。

私にはポリオの生ワクチンの予防接種を受けたときの副作用で、ポリオに感染し、右足が麻痺した弟がいます。弟の右足は今も不自由なまま、一生治ることはなく、いつかポストポリオになるかもしれないという不安を感じながら生活を送っています。弟が予防接種を受けた時、世界では予防接種でポリオに感染することはない不活化ワクチンを使用している国がたくさんありました。しかし、日本では必要性が叫ばれてから、何年も取り入れられませんでした。そこで、ポリオに感染し、後遺症と闘いながら生きている人たちが署名活動を行いました。

小学生だった私は、署名なんかで国を動かせるわけがない、と思っていました。しかし、それは私の思い違いだったのです。まず私の家族は、周りの知人に思いを伝え、協力を求めました。すると、その知人達がまた他の人に思いを伝え、それを知った人がまた他の人に思いを伝えてくれたのです。そのおかげで、署名はみるみる集まり、最終的に全体で三万人以上の署名が集まりました。そして、署名が国に提出されてから二年後、国の対応としては異例の速さで、不活化ワクチンが日本で導入されました。このことから、始めは小さな声だとしても、いつかは大きな国を動かす力にもなるということを学びました。

今、私が未来の地球のためにできることは、ポリオという病気のことを知らない人に伝えることです。まだ、海外では野生株のポリオのウィルスが存在しています。日本でも再び流行する恐れがあるので、ポリオを世界から撲滅させなければなりません。だから、これ以上ポリオで苦しむ人を増やさないために、弟のことを通じてポリオを一人でも多くの人に伝えていきたいと思います。一人一人が知って伝えることで、きっと世界は変わります。

対　　象　全国の中学生、高校生
内　　容　テーマは毎年変わります
詳　　細　JICA 地球ひろば HP の JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテストのページをご確認ください。
⇒https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/index.html

世界を考える！

高校生国際協力実体験セミナー

国際協力に携わる人の講演や参加型ワークショップなどを通して、世界の現状や課題について学びながら、私たちは未来のために何ができるのかを考えるプログラムです。

本プログラムに参加したことがきっかけとなり、自分たちでボランティアグループを立ち上げたり、NGO 活動に参加したりする生徒もいます。

内　　容　(例)参加型ワークショップで世界の現状を知る国際協力実践者の講演、グループワーク、発表

対　　象　高校生および高校教員（学校単位のお申込み）

実 施 日　JICA 関西 HP の高校生国際協力実体験セミナーのページをご確認ください。
⇒https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/jittaiken/index.html

費　　用　無　料（交通費、食費は参加者でご負担ください。）

備　　考　宿泊費と国内旅行障害保険料は JICA が負担します。

体験者の声

これで終わりではなく、常に心にとめておく。
自分がしたいことをみつめなおせた。

●自分が思っていたよりも色んな人とコミュニケーションをとることができ、今までにない発想や意見に触れることができた。いままで国際社会に生きる「私」はどうすれば良いのか迷っていたのですが、「私自身」ができるきっかけを見つけることが出来たと思います。

国際協力を体感！

職　場　体　験

学校現場で多く取り入れられているキャリア学習をお手伝いします。

※ 学校からのお申込みのみの対応になります。

JICA 関西の仕事を体験しながら、国際協力を身近に感じてもらうプログラムです。

内　　容　JICA プラザ関西等の広報素材（webページや展示品）の作成など

対　　象　中学生、高校生（受入人数は各校 1 名～ 4 名で、通常他校との同時受入です。）

実 施 日　5－6月、夏休み、10－11月の時期（3 ～ 5 日間の受入となります。）
※受入の可能な時期や人数は直接 JICA 関西 開発教育支援事業担当までご相談ください。

費　　用　無　料（交通費、食費、活動期間中の保険加入料は依頼元でご負担ください。）

体験者の声

将来なりたい職業の視野が広がりました。

●民族衣装を着てのクールビズはとても楽しく、貴重な経験となりました。
●外国の方々と交流して、つながりを持つ大切さや、国同士で支える大切さを学ぶことができました。
●今回学んだことを、自分の生活にも取り入れたいです。

世界に飛び立つ！

教師海外研修

開発教育／国際教育に取り組んでいる先生を、国際協力の現場へ派遣し、その経験や学びを活かし、児童や生徒への授業を実践していただきます。

海外研修では、実際に海外の現場に足を運ぶことで、文字や映像ではわからない開発途上国の現状を目の当たりにすることができます。現地の学校訪問、JICA 事業の現場視察や現地の人の生活状況を調査し、帰国後の授業実践に向けた材料収集を行います。

対　　象　開発教育・国際教育に関心のある学校教員および教育委員会指導主事

募集期間　4 月上旬～ 5 月中旬

派遣人数　関西 2 府 4 県から 10 名程度

事前研修　6 月・7 月　**海外研修**　8 月上旬頃

事後研修　8 月　**所属先での授業実践**　8 月～ 12 月　**授業実践報告会**　翌年 2 月頃

費　　用　【JICA 負担】海外渡航費、国内および海外旅行保険料、空港使用税など

【参加者負担】現地宿泊代、食費、旅券取得時に必要な費用、予防接種料など

詳　　細　派遣国、応募要項など詳細は JICA 関西 HP の教師海外研修のページをご確認ください。

⇒https://www.jica.go.jp/kansai/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html

体験者の声

盛りだくさんのプログラムで、毎日新しいことを学び感じられる研修であった。

●教師という立場の集団において、振り返り話し合いながら研修を受けることで様々な見解と思いが共有できる。様々な校種の中、授業への取り込み方を話し合うことでより深められることに学校ではできない経験をすることができた。

授業に役立つ！

開発教育指導者研修

開発教育って？参加型学習って？
どんな授業をしたら、効果的に子ども達に伝えることができるんだろう？
そんな先生方のために、地球上で起こる様々な問題や異文化を理解するための教材体験や、参加型ワークショップの実践方法を学ぶセミナーです。JICA 関西では、滋賀県、京都府、大阪府、大阪市、兵庫県、奈良県、和歌山県で実施しています。

内　　容　開発教育／国際教育実践者の講演、ワークショップ体験など
対　　象　学校教員、教育関係者、学生など開発教育・国際教育に関心のある方々
実 施 日　各府県で開催時期や内容詳細は異なりますので、JICA 関西 HP イベント情報をご確認ください。
⇒https://www.jica.go.jp/kansai/event/index.html
費　　用　無　料（交通費、食費は参加者負担）

体験者の声

国際教育・開発教育の歴史と発展がよく分かりました。

- 実践的な方法が学べ、これから実際の授業で活用できると思いました。
- 体を動かして参加することで、より平和や国際問題について考えることができました。
- 実践的ロールプレイから今の日本の問題も見えて、とても面白かった。
- ワークショップではたくさんの方々の考えを知ることができ、大変参考になった。

本パンフレットに関する各種お問い合わせ

JICA 関西（独立行政法人国際協力機構　関西国際センター）市民参加協力課　開発教育支援事業担当
住所：〒651-0073　兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
TEL. (078)261-0384（直通）　FAX. (078)261-0357
E-mail: jicaksic-kaihatsu@jica.go.jp
［問合せ受付時間：土・日・休日を除く 10 時から 12 時まで／ 13 時 30 分から 17 時まで］

以下３つのプログラムのお問い合わせは 公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部 の担当者へ

JICA 国際協力出前講座
公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　国際協力出前講座担当
〒531-0072　大阪市北区豊崎 3-9-7　いずみビル 304 号
TEL. (06)6375-2224　FAX. (06)6375-2226　E-mail：kinki-ed@joca.or.jp

JICA 海外技術研修員との交流
JICA 関西（独立行政法人国際協力機構　関西国際センター）内
公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 海外技術研修員との交流担当
TEL. (078)261-0384（直通）　FAX. (078)261-0357　E-mail：jicaksic-ed1@jica.go.jp

JICA 関西訪問プログラム
JICA 関西（独立行政法人国際協力機構　関西国際センター）内
公益社団法人　青年海外協力協会近畿支部　JICA 関西訪問プログラム担当
TEL. (078)261-0384（直通）　FAX. (078)261-0357　E-mail：jicaksic-ed1@jica.go.jp

あなたの街の JICA デスク
国際協力推進員

国際協力推進員は「地域の JICA 窓口」として、関西 2 府 4 県で国際協力のご相談に応じています。国際協力について知りたい、JICA ボランティアに参加してみたい、開発教育や国際協力の実践について相談に乗ってもらいたいなどのご要望や疑問について、お近くの国際協力推進員までお気軽にご相談ください。

- JICA滋賀デスク
  配置先：公益財団法人滋賀県国際協会
  TEL：(077) 526-0931　FAX：(077) 510-0601
- JICA京都デスク
  公益財団法人京都府国際センター
  TEL：(075) 365-7786(直通)　FAX：(075) 342-5050
- JICA大阪デスク
  配置先：公益財団法人大阪府国際交流財団
  TEL：(06) 6966-2400　FAX：(06) 6966-2401
- JICA奈良デスク
  配置先：奈良県外国人支援センター
  TEL・FAX：(0742) 81-3830
- JICA和歌山デスク
  配置先：公益財団法人和歌山県国際交流協会
  TEL：(073) 435-5240　FAX：(073) 435-5243
- JICA兵庫デスク
  配置先：JICA関西　市民参加協力課
  TEL：(078) 261-0384（課直通）　FAX：(078) 261-0357

写真：渋谷敦志 /JICA

独立行政法人国際協力機構 関西国際センター (JICA 関西）市民参加協力課
〒651-0073　兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
電話：(078)261-0384(課直通)　FAX：(078)261-0357
URL：https://www.jica.go.jp/kansai/

2017 年 3 月発行